

平成25年 7月26日

役員会会議次第

日本測量者連盟

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 題

(1) 平成24年度事業報告及び決算報告

(2) 平成25年事業計画(案)及び予算(案)

(3) 役員の改選

(4) その他

4. 閉 会

(資料 1)

平成24年度 事業報告

日本測量者連盟

| 年 月 日 | 内 容 |
|----------------|---|
| 平成24年5月18日～22日 | FIG総会（ローマ） 出席者 西 修二郎（総幹事） |
| 平成24年7月26日 | 平成23年度 監事監査 |
| 平成24年7月30日 | 役員会 平成23年度事業報告・決算報告 平成24年度事業計画（案）・予算（案） 役員等の改選 その他 |
| 平成24年7月30日 | 活動状況報告会 FIG2013 ローマ大会には、村井俊治会長、西修二郎総幹事の他、国土地理院、日本土地家屋調査士連合会等からも出席した。 ①「FIG ローマ大会と東日本大震災」 報告者 西 修二郎（総幹事） ②「国家基準点の震災復旧と成果改定」 報告者 山 際 敦 史 ③「リモートセンシングによる東日本大震災モニタリング」 報告者 吉 川 和 男 ④「東日本大震災における GIS ボランティアの活動」 報告者 平 田 更 一（第3分科会委員長） |
| 平成24年11月26日 | 講演会 ①『GNSS時代の幕開け』 講 師 宮 川 康 平 ②『復興まちづくり』 講 師 谷 下 雅 義（第8分科会委員長） |
| 平成25年3月11日 | 講演会 ①『VLBI とは何か』 講 師 松 坂 茂 ②『イランの現況と、自然・遺跡・人々・地図史料』 講 師 長 岡 正 利 ③『被災地における放射線モニタリング』 講 師 馬 場 宇 久 |
| 平成25年3月14日 | 日本測量者連盟編集委員会 |

(資料 2)

平成24年度決算報告

日本測量者連盟

(自 平成24年4月1日至 平成25年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

| 科目 | 決算額 | 摘要 |
|-------|-----------|-----------------------------|
| | (B) | |
| 団体会費 | 1,288,000 | 研修センター5万, 全測連30万, 測専教10万, |
| 法人会費 | 115,000 | 水路協22.5万, 日測協30万, 測技協11.3万, |
| 個人会費 | 78,000 | 地調協5万, 日調連15万(8団体) |
| 預金利息 | 768 | 法人会費 23口(1口5,000円) |
| 前年度繰越 | 1,282,523 | 個人会費 39口(1口2,000円) |
| 合計 | 2,764,291 | |

2. 支出の部

| 科目 | 決算額 | 摘要 |
|-------|-----------|------------------------------|
| | (B) | |
| 消耗品 | 0 | |
| 旅費 | 714,581 | FIG総会・国際シンポジウム(イタリア・ローマ) |
| 郵送料 | 39,845 | 請求書・会議案内発送・郵便振替手数料他 |
| 会議費 | 31,760 | 役員会・編集会議等 |
| 編集費 | 171,000 | JFS・HP掲載原稿料 |
| 印刷費 | 0 | |
| 事務委託費 | 600,000 | 日本測量協会へ(事務所使用料を含む) ※未払い(2年分) |
| FIG会費 | 241,365 | FIG本部への納入金 |
| 分科会費 | 0 | 分科会活動費 |
| 研究開発費 | 0 | |
| 資料収集費 | 0 | 資料収集他 |
| 雑費 | 1,780 | |
| 予備費 | 0 | |
| 合計 | 1,800,331 | |

次年度繰越金

| 収入 | 支出 | 繰越金 |
|-----------|-----------|---------|
| 2,764,291 | 1,800,331 | 963,960 |

(資料 3)

平成25年度 事業計画 (案)

日本測量者連盟

| 年 月 日 | 内 容 |
|---------------|--|
| 平成25年5月4日～13日 | F I G総会 (アブジャ) 出席者 西 修二郎 (総幹事) |
| 平成25年7月19日 | 平成24年度 監事監査 |
| 平成25年7月26日 | 役員会 平成24年度事業報告・決算報告 平成25年度事業計画 (案)・予算 (案) 役員等の改選 F I G総会 (アブジャ) 等の報告 「F I G 2014 クアラルンプール大会」の プレゼンテーション・懇談会 その他 |
| 平成26年3月 | 日本測量者連盟編集委員会 |
| | J F S 講演会開催 (予定) ニュースレター発刊 (毎月予定) |

(資料 4)

平成25年度 予算(案)

日本測量者連盟

(自 平成25年4月1日至 平成26年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

| 科目 | 平成24年度 | 平成25年度 | 増減額 | 摘要 |
|-------|-----------|-----------|-----------|-----------------------------|
| | (A) | (B) | (B)-(A) | |
| 団体会費 | 1,288,000 | 1,288,000 | 0 | 研修センター5万, 全測連30万, 測専教10万 |
| 法人会費 | 115,000 | 115,000 | 0 | 水路協22.5万, 日測協30万, 測技協11.3万, |
| 個人会費 | 78,000 | 76,000 | △ 2,000 | 地調協5万, 日調連15万 (8団体) |
| 預金利息 | 900 | 700 | △ 200 | 法人会費 23口(1口5,000円) |
| 前年度繰越 | 1,282,523 | 963,960 | △ 318,563 | 個人会費 38口(1口2,000円) |
| 合計 | 2,764,423 | 2,443,660 | △ 320,763 | |

2. 支出の部

| 科目 | 平成24年度 | 平成25年度 | 増減額 | 摘要 |
|-------|-----------|-----------|-----------|---------------------------------|
| | (A) | (B) | (B)-(A) | |
| 消耗品 | 10,000 | 10,000 | 0 | 文房具・封筒 その他 |
| 旅費 | 1,100,000 | 900,000 | △ 200,000 | FIG総会・国際シンポジウム (マレーシア・クアラルンプール) |
| 郵送料 | 50,000 | 50,000 | 0 | 請求書・会議案内発送・郵便振替手数料他 |
| 会議費 | 30,000 | 30,000 | 0 | 役員会・編集会議等 |
| 編集費 | 100,000 | 100,000 | 0 | JFS・HP掲載原稿料 |
| 印刷費 | 0 | 0 | 0 | |
| 事務委託費 | 600,000 | 300,000 | △ 300,000 | 日本測量協会へ支払(昨年度は支払が遅れた為、2年分) |
| FIG会費 | 230,000 | 230,000 | 0 | FIG本部への納入金 |
| 分科会費 | 200,000 | 200,000 | 0 | 分科会活動費 |
| 資料収集費 | 80,000 | 80,000 | 0 | 資料収集他 |
| 雑費 | 50,000 | 50,000 | 0 | |
| 予備費 | 314,423 | 493,660 | 179,237 | |
| 合計 | 2,764,423 | 2,443,660 | △ 320,763 | |

3. 特別積立金

| 科目 | 前年度積立金 | 繰越金 | 増減額 | 摘要 |
|-----|-----------|-----------|---------|------------|
| | (A) | (B) | (B)-(A) | |
| 積立金 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 | 東京都民銀行定期預金 |

(資料 5)

平成25年 7月26日

役員等の交替について (案)

日本測量者連盟
(順不同・敬称略)

【顧問】

- は せ が わ ひ ろ ゆ き
◎ 長谷川 裕 之 【国土地理院 企画部測量指導課長】
(前任者：田 中 宏 明)

【理事】

- か と う し げ る
◎ 加 藤 茂 【(一財)日本水路協会 常務理事】
(前任者：伊 藤 友 孝)
- た か は し し ょ う ぞ う
◎ 高 橋 庄 三 【(一財)全国建設研修センター 理事】
(前任者：望 月 達 也)
- つ ざ わ ま さ は る
◎ 津 沢 正 晴 【(公財)日本測量調査技術協会 事務局長】
(前任者：谷 岡 誠 一)
- は や し ち と し
◎ 林 千 年 【日本土地家屋調査士会連合会 会長】
(前任者：竹 内 八 十 二)

【編集委員】

各分科会委員長は編集委員を兼ねる

日本測量者連盟役員等名簿

平成25年 7月26日現在

(順不同・敬称略)

| | | |
|---------|---------|------------------------|
| 名 誉 会 長 | 原 田 美 道 | 元日本測量者連盟会長 |
| 顧 問 | 井 上 英 二 | 元(一社)地図協会理事長 |
| " | 金 窪 敏 知 | 元(一財)日本地図センター理事長 |
| " | 長谷川 裕 之 | 国土地理院企画部測量指導課長 |
| " | 中 川 一 郎 | 元(公社)日本測量協会会長 |
| " | 大 竹 一 彦 | 前(一社)地図調製技術協会会長 |
| 参 与 | 星 埜 由 尚 | (公社)日本測量協会副会長 |
| " | 大 嶋 太 市 | 法政大学名誉教授 |
| 会 長 | 村 井 俊 治 | (公社)日本測量協会会長 |
| 副 会 長 | 本 島 庸 介 | (一社)全国測量設計業協会連合会会長 |
| 理 事 | 上 條 勝 也 | (財)測量専門教育センター会長 |
| " | 瀬戸島 政 博 | (公社)日本測量協会専務理事 |
| " | 加 藤 茂 | (一財)日本水路協会常務理事 |
| " | 高 橋 庄 三 | (一財)全国建設研修センター理事 |
| " | 大 塚 冀 一 | (一社)地図調製技術協会会長 |
| " | 津 沢 正 晴 | (公財)日本測量調査技術協会事務局長 |
| " | 林 千 年 | 日本土地家屋調査士会連合会会長 |
| 監 事 | 宮 崎 清 博 | (一社)全国測量設計業協会常務理事・事務局長 |
| " | 岩 崎 昇 一 | (一社)地図調製技術協会理事・事務局長 |

| | | | |
|-----------|------|----------------------------------|--|
| 第1分科会委員長 | | | |
| 第2分科会委員長 | 馬場義男 | (財)測量専門教育センター理事 | |
| 第3分科会委員長 | 平田更一 | 日本大学非常勤講師 | |
| 第4分科会委員長 | 金澤輝雄 | (一財)日本水路協会審議役 | |
| 第5分科会委員長 | 塚原弘一 | (株)パスコ生産改革本部理事 | |
| 第6分科会委員長 | 岡本修 | 茨城工業高等専門学校 電子制御工学科准教授 | |
| 第7分科会委員長 | 海津優 | (一財)日本建設情報総合センター ｼｽﾃﾑ工ｺﾝｼﾞｮﾝｸﾞ部長 | |
| 第8分科会委員長 | 谷下雅義 | 中央大学 理工学部都市環境学科教授 | |
| 第9分科会委員長 | 海津優 | (一財)日本建設情報総合センター ｼｽﾃﾑ工ｺﾝｼﾞｮﾝｸﾞ部長 | |
| 第10分科会委員長 | 佐田達典 | 日本大学 理工学部交通システム工学科教授 | |

編集委員長 西 修二郎 (公社)日本測量協会常任参与

編集委員 各分科会委員長

総幹事 西 修二郎 (公社)日本測量協会常任参与

事務局局長 高橋谷造 (公社)日本測量協会常務理事・事務局長

局員 木下信也 (公社)日本測量協会総務部部長代理

FIG2013 アブジャ大会報告

西修二郎

概要

FIG2013 アブジャ大会は、5月6日～10日の日程でナイジェリア アブジャのNicon luxury hotelで開催された。約40ヶ国、2,000名の参加者があった。今年の大会はアフリカのテロ多発地域での開催ということもあり、例年に比べて国際的な参加が少なかった。ナイジェリア国内からの参加者が大半をしめ、ナイジェリアの熱気が伝わる会議であった。

ナイジェリアのアブジャは、20年程前にナイジェリアの首都になった新興の街である。幹線道路は概略出来ているが、全体の都市計画はいまだ整備途上という感じである。

建設中のビルが多くみられ、経済成長中の国という印象をうけた。ナイジェリア国内からの参加者は、みな民族衣装の正装で中間富裕層が多くいるという感じだ。

総会はFIGの最高議決機関である。通常はFIGの会長、副会長、委員長人事が行われるが、今回は投票を伴う人事や開催地の選出はなかった。

FIGの会員については、昨年からの新規会員は無く、会費未納によりアルジェリア、ブラジル、アルバニア、エチオピアの会員が除名され会員数は99となった。また学会会員については新たに5機関が認められ、学会会員数は91となった。

プレナリーセッション（全体集会）は、3回開かれた。全体集会1のテーマは、管理手法、全体集会2のテーマは、テクノロジーとシステム、全体集会3のテーマは、専門性と能力開発ということでそれぞれに基調演説が行われた。

技術講演会には全部で200篇程の論文が提出された。今回は海外の出席者が少なくナイジェリアの国内大会かという雰囲気であった。

ナイジェリアの経済成長率は2005年以降毎年6%程度である。石油資源にめぐまれている国である。高額の会議参加費を払い、フォーマルドレスに身を包む中流層が沢山いる。街を歩くといたるところで建設中であり、活気にあふれている。測量関係機関もいくつか見せてもらったが、新しい建物とコンピュータに包まれた新生ナイジェリアとの様子が伝わってきた。来年はアジアのマレーシア大会である。FIG新会長の選挙も行われる。マレーシアの招致委員会もJFSの役員会に合わせて日本にプロモーションに来ている。日本からも近いので是非多くの人に参加してもらいたい。

（詳細については日本測量者連盟のHPを参照）

●平成 24-25 年の HP 掲載原稿

JFS 編集委員長 西修二郎

- 1) FIG2012ローマ大会：西 修二郎
- 2) FIGローマ大会に参加して：永山 透
- 3) FIG ローマ大会に参加して：山際 淳史
- 4) FIG ローマ大会に参加して：吉川 和男
- 5) FIGローマ大会に参加して：平田 更一
- 6) FIG 第 5 分科会情報：塚原 弘一
- 7) FIG 第 3 分科会情報：平田 更一
- 8) FIG Article of the Month Novemver：山際 淳史
- 9) FIG によるアカデミック会員一覧表と測量教育データベースの紹介：馬場 義男
- 10) [Coordinates]論文：永山 透
- 11) G N S S 時代の幕開け：宮川 康平
- 12) 復興まちづくり：谷下 雅義
- 13) スリランカを訪ねて：星埜 由尚
- 14) 中国の測量会社を視察して：村井 俊治
- 15) フィンランドの多島海：金澤 輝雄
- 16) 国連専門家委員会報告：松坂 茂
- 17) FIG2013 アブジャ大会への招待：西 修二郎
- 18) gvSIG Batoví (教育用GIS)：平田 更一
- 19) 測量技術者に対する世界共通の品質保証システムの困難さ：馬場 義男
- 20) VLBI とは何か：松坂 茂
- 21) イランの現況と、自然・遺跡・人々・地図史料：長岡 正利
- 22) 被災地における放射線モニタリング：馬場 宇久
- 23) 第7部会年次総会について：海津 優
- 24) FIG2013 アブジャ大会：西 修二郎

毎月連載：ドクター村井の“新養生訓” 24年4月－25年7月 : 村井俊治